

ペトレル南極基地改修に関する包括的環境影響評価書案 概要  
(アルゼンチン共和国政府から送付された資料をもとに日本国環境省作成)

1. 表題

ペトレル南極基地改修に関する包括的環境影響評価書案

2. 作成者

アルゼンチン共和国外務省

3. 活動の場所

ダンディー島

4. 工事予定時期

2023年から2029年

5. 環境影響評価の対象となる活動

(1) 基地施設の改修

新基地の設計、建設、使用に関連するすべての活動を含み、既存の建物の解体、土木・基礎工事、据付工事、物流・輸送、新基地の設置・試運転を行う。

(2) 新滑走路の建設

滑走路及び関連する地上施設の建設と使用、建設段階での仮設現場施設、機械の設置と使用、滑走路の保守と解体を行う。

(3) 太陽光発電所の建設

太陽光発電所の設計、太陽電池パネルの建設と設置、土木・基礎工事、建設と物流、新しい太陽光発電所の設置と試運転を行う。

(4) 給水池の整備

基地に水を供給するための給水池設計と設置、基地への水供給のための設計オプション、建設、土木工事、ロジスティックスを行う。

6. 環境

ペトレル基地は、南極半島の北端に位置し、南極大陸で最も活動が盛んな地域である。基地はダンディー島にあり、島で唯一氷のない地域内に位置している。ウェルチネス岬の区域は、約 2.5km<sup>2</sup> の三角形のエリアから構成されている。この区域のほとんどは非常に平坦で、外縁部は海に面している。この平坦な区域は、北東から南西に 1950m、北東から南東に 1400m である。ウェルチネス岬の環境条件、地理的位置、地形と気象の地域特性は、様々なタイプの航空機の滑走路の建設に適している。

7. 環境影響の緩和策

環境影響の予防的な緩和策の概要は次のとおり。

- ・「外来種マニュアル」に記載されている対策を適用する。
- ・廃棄物管理計画及び基地廃棄物準備のための指示書の規定を遵守する。

- ・CEP のクリーンナップマニュアルに従ってサイトを評価し、廃棄物管理計画の規定及び基本廃棄物の準備のための指示書に従う。
- ・可能な限り地表面の影響を最小限にし、表面水路に人為的要素を与えず、水が溜まらないように管理する。
- ・決議 2 (2004) -南極の鳥類の密集地付近における航空機の運航に関するガイドラインの規定を尊重し、鳥類の密集地の上空を回避する飛行ルートとする。

## 8. 結論

本活動が南極環境に与える影響は、軽微な又は一時的な影響を上回る可能性が高い。一方で、本活動による安全性、環境保護、科学支援能力の向上といったプラスの影響が、本活動に関連するマイナスの影響を上回ることから、本活動を進めるべきであると考えられる。